



情報誌

FAR

71号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東錫屋町167 ビューフォート五条烏丸3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556 / <http://www.jsrt.or.jp>. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

お役に立てる

副会長 神澤良明



明けましておめでとうございます。

私が尊敬する方のお話を紹介させて頂きます。その方は臨済宗の僧侶で師家の河野太通老師。1930年1月のお生まれで現在94歳。臨済宗妙心寺派の元管長、全日本仏教会前会長などを歴任された。現在は姫路市網干にある「不生禪」で有名な盤珪永琢国師ゆかりの龍門寺長老。

太通老師との出会いは私が30歳台の頃「タイ国文化使節団」の一員としてタイ国に同行したこと

始まる。その時期には太通老師は神戸祥福寺専門道場の師家として大勢の雲水の指導をしておられた。また祥福寺僧堂で開催される坐禅と法話の会「真人会」のご指導もされていた。私も太通老師の推薦で「真人会」のお世話係として現在に至っています。

太通老師にお教え頂いた中に「無財の七施」がありました。これはお金を使わなくても「お役に立てる」ことができる方法です。

やさしい眼なざし

第一は「眼施」、これは慈しみの目を施すこと、やさしい眼なざしを人々に施すことです。これはお金がなくともできます。

和やかな顔

第二は「和顔施」といい、和やかな顔を施すということです。デパートの店員がしかめつ面をしていると商売になりません。化粧をしなくともニコニコしている方が良い、意識したニコニコより自然のニコニコがより良いと思います。

よい言葉を人に施すこと

第三は「言辞施」、言葉を施すということです。

ある高名な大学の刑法学者は、「私はいつも家を出て、毎日、蟻を三匹踏みつぶしてくるんだ」とおっしゃっていたようです。家の玄関を出られて目的地に着くまでに、小さな名もなき虫の二匹や三匹



内 容

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. ごあいさつ | 副会長 神澤良明 |
| 2. 第81回総会学術大会へのお誘い | 大会長 岩永秀幸 |
| 3. 2025 FAR会 懇親のタベ | 代表幹事 平野浩志 |
| 4. 第52回秋季学術大会報告 | 実行委員長 奥田保男 |
| 5. 2024 FAR会 懇親のタベ報告 | 代表幹事 藤田 透 |
| 6. 会員動向 | |
| 7. 会からのお知らせ | |
| 8. JSRT 情報 | |
| 9. コラム | |
| 10. 編集の小窓 | |

は、ひょっとすると踏み殺して来ているかもしれない。そんな自分を懲悔し、研究室には観世音菩薩像がおまつりしてあったそうです。

「人のいのちは短くてはかない。だから大切にいとおしまなければならない。刑法という学問は、ここから出発していることを忘れるな」とおっしゃっていたようです。後輩に何か名言を残したいものです。

いくらでもある無財の施し

第四は「床座施」、座を譲るということです。電車に乗っても、お年寄りや体の不自由な方に席を譲るということ、電車、待合室などで簡単にできます。

第五番目は「身施」といいまして、体を施すこと、自分の労働力を施すことです。

六番目は「心施」、心を施すというのですが、つまりは人に対して思いやりを持つことです。人に思いやりの心で接していると自然と優しい目で、穏やかな顔で、優しい言葉で接することができます。

「無財の七施」の最後は「房舎施」といって、これはお宿を提供することです。これは現代では大変難しいことですが、四国ではお遍路さんのための宿を提供することが行なわれています。

お金があってする施しにも、この心がけがなければならないのではと、ボランティアや奉仕ということの根本的な精神は、「無財の七施」の心でなければならないと思います。老師のお教えを胸に日々を大切に過ごしたいと思っています。

《第81回総会学術大会へのお誘い》

ご挨拶

第81回総会学術大会 大会長 岩永秀幸



FAR会の先生方には、いつもご指導をいただき、心より感謝申し上げます。このたび、第81回総会学術大会の大会長を拝命いたしました岩永秀幸と申します。第81回大会のテーマは「Radiology for Everyone」としております。今回は、英語のみのタイトルを採用し、国際化を意識しております。大会長としてのテーマは「アナログからデジタル、そして人工知能（AI）へ」を見据え、未来医療と放射線技術について考える大会として準備を進めております。

さて、JRC2025のポスターをご覧いただいたでしょうか？ 今回は、イラスト風のデザインで、3学会の大会長が目指す「Radiology for Everyone」のコンセプトをちりばめた一押しのポスターとなっております。少しだけご紹介いたしますと、周辺には地球とSociety5.0をイメージし、中央には医師と患者さんの診療風景、親子連れや高齢者の姿が描かれています。地方をイメージしたデザインや、人工衛星を活用した地域遠隔診療も含まれています。また、ポスターの円形部分には、X線写真や被ばく線量の正当化を示す天秤、AIの心臓部であるICチップ、CT装置、病院、ロボット手術などが描かれており、まさに「Radiology for Everyone」を体現するポスターとなっています。さらに、中央下部には横浜の名所も描かれております。ぜひじっくりとご覧いただければ幸いです。4月には満開の桜とともに、皆さまをお迎えできることを信じております。

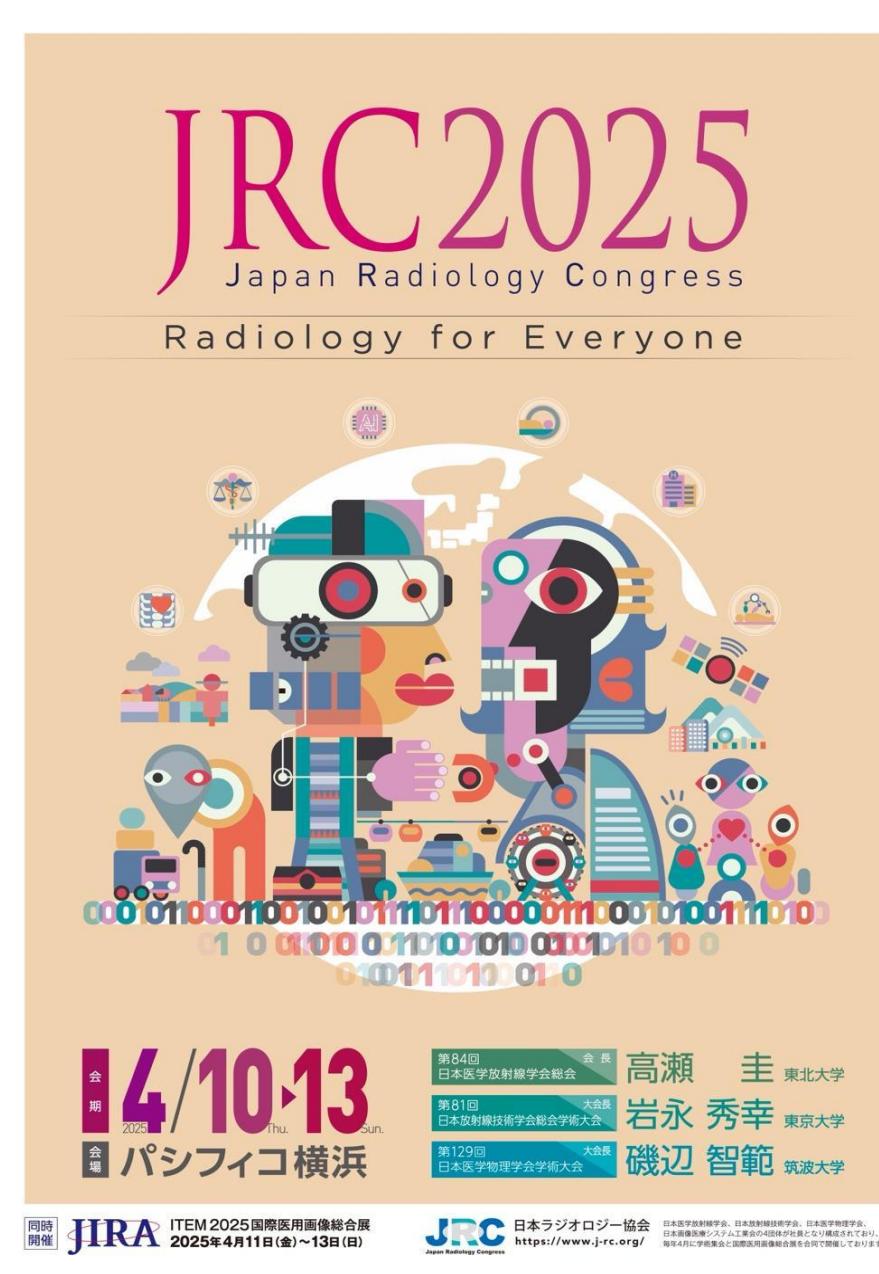
本大会では、第4回ICRPT（International Conference on Radiological Physics and Technology）を並行開催いたします。これは、日本放射線技術学会が日本医学物理学会と共に運営している国際発表会で、世界最先端の放射線技術学の研究内容を広く発信することを目的としています。私自身、国際戦略委員長であったこともあり、MoUを締結している海外の学会にも演題募集を呼びかけました。その結果、国内外合わせて130を超える演題が登録され、新型コロナ感染症禍で遅れを取っていた本大会の国際化が少しずつ実を結び始めていると感じております。一方で、日本語による発表演題も380を超える登録があり、新型コロナ感染症が収束した後、最多数の演題をいただきました。4月に多くの激論が交わされることを想像すると、期待が高まるばかりです。FAR会の先生方にも、ぜひご参加いただき、この議論に加わっていただきたいと願っております。

次に、本大会の合同シンポジウムについてご紹介します。JRC の合同シンポジウムでは、「Green Radiology」、「医学物理学の Society5.0への貢献」、「ゲノム診療を考える：未来医療における放射線診断・治療方法の変革」の3つのテーマを企画しております。それぞれ異なる視点で「Radiology for Everyone」を考えるシンポジウムとなることを期待しております。また、日本放射線技術学会のシンポジウムでは、「DRLs2025 and Beyond—放射線技術学会が取り組むべき課題ー」、「人工知能の軌跡と奇跡ー医療の未来への新たなるステップー」、「放射線医療技術を取り巻くエポックメイキング 放射線技術分野の変革点（過去・現在・未来）」をテーマに検討しております。永遠の課題である被ばく線量管理の最新状況、人工知能（AI）との関わり、そして放射線技術のエポックメイキングをテーマに技術の変化を考える内容となっています。

今大会は、開会式を市民公開講座として公開し、なかなか見ることができないイベントを準備しています。

ぜひ開会式にも足をお運びください。その他、この紙面では書き尽くせないほど多くの専門部会や委員会による企画も準備しております。

最後になりましたが、FAR 会の先生方には、日本放射線技術学会のさらなる進化と発展を、ぜひ横浜にお越しいただき、実感していただければ幸いです。実行委員長をはじめ実行委員会、大会に関係する専門部会、会員の



総力を結集して第 81 回総会学術大会を開催したいと考えております。温かい目で見守っていただくとともに、ご指導賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

《2025 年 FAR 会 懇親の夕べ》

JRC2025 JSRT 第 81 回総会学術大会時の FAR 会 春季懇親の夕べのご案内

代表幹事 平野浩志

JRC2025 JSRT 第 81 回総会学術大会時の FAR 会は、昨年と同じく『周 富輝』オーナーシェフの中華料理【生香園 新館】で開催いたします。

横浜の馬車道通りにある店で、昨年の FAR 会の食事がとても上品で美味しかったのでもう一度食べたいとの思いと、昨年参加できなかった会員の皆様にも是非味わって頂きたく企画いたしました。

学会場から近いという利点もあります。皆様におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

日 時：2025 年 4 月 12 日 土曜日 19:00～21:00

会 場：横浜 馬車道通り 「生香園【セイコウエン】」(新館)

www.shu-tomiteru.jp

住 所：神奈川県横浜市中区太田町 5-56 電話：045-81-4121

会 費：1 万円（飲み放題）

代表幹事：平野浩志

連絡先：hirano_h@marunouchi.or.jp 携帯：090-9666-2592

【交通のご案内】

- ・みなとみらい線「馬車道駅」5 番出口より徒歩 2 分（177m）
- ・横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」8・9 番出口より徒歩 4 分
- ・JR 根岸線「関内駅」北口より徒歩 8 分



《第 52 回秋季学術大会報告》

第 1 回日本放射線医療技術学術大会(第 52 回日本放射線技術学会秋季学術大会)を終えて

実行委員長 奥田保男



大会開催の数日前に季節外れの台風 21 号が発生し大会の開催が危ぶまれましたが、会期中に大きく天候が荒れることもなく沖縄らしい抜けるような青さが空に広がり、第 1 回日本放射線医療技術学術大会(第 52 回日本放射線技術学会秋季学術大会) (以下、本大会) を<演題数：789 演題、参加者：約 2,700 人 (12 月 2 日現在)>を集め開催できましたことを嬉しく思っています。現地およびオンラインでご参加いただきました方々、および本大会の開催にあたり多大なるご尽力をいただきました方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。また、第 1 回から続く学術大会を脈々と引き継がれてきた諸先輩方に敬意を表します。

さて、本大会は、初めて公益社団法人日本診療放射線技師会（以下、JART）と合同で開催した大会であり、テーマは「ゆいまーる～診療放射線技術の共創～」、英語のサブタイトルは「All Japan Radiological Technology」しました。「ゆいまーる（相互扶助）」「共創」「All Japan」の意は言うまでもなく「今までの背景や考え方や規則が異なる団体が共に助け合い、お互いを尊重しあいながら新たなものを創造していく姿」を表しています。

具体的には、JSRT 内の委員会・部会と JART 内の学会・委員会・分科会など、およそ同じ領域を担う組織同士が協議し、企画のテーマや司会・演者を選定し、「特別講演：2 企画」「教育講演：3 企画」「学術企画：22 企画」、「教育セミナー：11 企画」、「情報提供講座：9 企画」として会員に情報を提供しました。特に「第 1 回大会開催記念企画」では、本学会の石田隆行代表理事、JART の上田克彦会長、日本ラジオロジー協会の青木茂樹先生、日本医学放射線学会の富山憲幸先生、日本放射線専門医会・医会の山田恵先生、日本画像医療システム工業会の瀧口登志夫様にご登壇いただき「All Japan Radiology の実現に向けて」というテーマでご講演いただきました。さて、今回の大会に向けた準備期間を一言で申すならば、徳川



家康の遺訓である「重荷を負うて遠き道を行くが如し、いそぐべからず」が的を得ているように思います。両会のこれまでの考え方や背景や文化があり、それぞれには異なる規程などがあります。時には従来の手法よりも不利益を被ったり、負担が増えることもありましたが、必要事項を擦り合わせたり、新たなものを作成したりしながら、双方で合意しつつ検討を進めてきました。ここには“第 1 回大会を成し遂げるという思い”と大会までの“長期的な視野”が挫折を遠ざけたのではないかと思います。もちろん“当日の即断による臨機応変”さも重要でした。

昨今の社会は、web や AI、機械学習など新しい技術を使った生活様式の変化など新たなフェーズに移ってきており、近い将来には医療の中にも当たり前にバーチャルな空間があるようになります。このように社会が加速度的に進む中、集う成果も集う人々の感性も多様になってきています。そんな世情ではありますが、「一期に一度の参会のように、亭主をしつして威づべきとなり」という千利休の言葉を本大会にて改めて認識する私個人としても良い機会でした。これまでにも何度もお会いしたことのある方との再会、沖縄での出会いが“まさに一生に一度”的な方など様々ですが、常に新鮮な気持ちで相手を敬い、出会いの瞬間を大切にすることで豊かな時間を過ごせることを本大会の準備。運営をとおして学ばせていただきました。

また、この経験は本学会の Next Step を考えるにあたり非常に大きな題材であり糧になったと確信しております。



末筆ではございますが、FAR 会の本誌に寄稿する機会を与えていただきましたことに感謝と御礼を申し上げます。

《2024 年 FAR 会 懇親の夕べ報告》

初めての沖縄での懇親の夕べ

代表幹事 藤田 透
幹 事 小水 満

第 52 回日本放射線技術学会秋季学術大会は、沖縄県宜野湾市沖縄コンベンションセンターで、日本診療放射線技師会との合同で第 1 回日本放射線医療技術学術大会として、白石順二前代表理事、上田克彦日本診療放射線技師会会长を各大会長とし 10 月 31 日～11 月 3 日に開催されました。この大会は、初めての沖縄県開催でした。FAR 会では、定例的に総会と秋季学術大会時に世話人会および会員懇親会を開催してきました。今回の秋季学術大会は、沖縄県という交通移動手段が制限される遠隔地開催であるため、世話人会議は、10 月に持ち回りメール会議としました。また、秋季大会時の懇親事業は、FAR 会発足以来、一泊懇親旅行が行われてきましたが、

COVIT-19 で行動が制限され中止が余儀なくされました。漸く 2022 年から、秋季懇親の夕べとして復活ができました、今回の秋季懇親の夕べの開催にあたり、沖縄県には、残念ながら FAR 会員がおられないことや遠隔地であることなどから、開催が危ぶまれていましたが、FAR 会の目的を遂行するためには、例え少人数の参加でも懇親会を開催する意義があるとの判断から、藤田 透会長を代表幹事として、役員が実行担当して懇親会を計画しました。

開催の 1 週間前には、台風 21 号が発生し、沖縄県を直撃する予想進路で、日々の台風の進路予想にひやひやしていました、幸いにも、台風が沖縄から離れた進路になり、当日の沖縄は真夏日になり、無事沖縄空港に着陸できほっとした次第です。

遠隔地での懇親会のため、参加者数の把握が難しく心配でしたが、当日は、石田隆行代表理事、平野浩志、船橋正夫両監事、白石順二大会長、岩永秀幸第 81 回総会学術大会大会長、川田秀道実行委員長、土井邦雄名譽顧問夫妻の方々をはじめ予想を上回る 20 名の参加を頂き、大変にぎやかに開催できましたことに深く感謝いたします。

懇親会会場は、沖縄に精通していられる白石大会長に相談しましたところ、那覇市内の沖縄料理のお店 “おもろ殿内（おもろどぅんち：Omoro-Dunchi）”（写真1）を紹介していただきました。沖縄の中庭のある古民家を改造したいかにも沖縄らしい雰囲気の門構えでした。

料理は、沖縄を満喫できる品々の沖縄（うちなー）コース（写真 2）で、①前菜三種盛り（ゴーヤ甘酢もろみ味噌、ミミガー、アーサ昆布）と海ぶどう、島らっきょう にはじまり、②沖縄近海で捕れる熱帯地方の魚のグルクン黄金焼き 、③定番の刺身 3 種盛り、④皮付き豚肉の三枚重ねのラフテー黒糖煮、⑤わらじサイズの近海マグロのメンチカツなど沖縄の食材を使った琉球料理を肴に合う⑥オリオンビールと泡盛を次々ググッと飲みほして、〆は、⑦豚バラ肉の巻飯、そして最後は⑧黒糖くずもちでした。

なお、料理写真は、事務局宇高小波さんの提供です。お陰様で沖縄映えが表現できました。大変ありがとうございました。



写真1 Omoro-Dunchi



① 前菜三種盛りと沖縄産物



② グルクン黄金焼き



③ 刺身 3 種盛り



④ ラフテー 黒糖煮



⑤ 近海マグロわらじメンチカツ



⑥ オリオンビールと泡盛



⑦ 豚バラ肉の巻飯



⑧ 黒糖くずもち

写真2 沖縄（うちなー）料理と泡盛

秋なのに何故か真夏日のひと時を沖縄の地の空気と味を約 2 時間充分に満喫していただけたのではないでしょうか。皆様大変ありがとうございました。

沖縄は、11 月とはいまだ日中は 30° を超える真夏日の気候でした。集合写真（写真 3）のように、数名の先生方は、沖縄の正装の一つの「かりゆしウエア」でした。地元にマッチして違和感が感じられないのも沖縄ならでの風土でしょうか。



写真3 集合写真

最後に、沖縄県に FAR 会員がおられないのはなんと寂しいと思います。FAR 会の今後の課題の一つとして考えていただければ幸いです。（文責 小水）

《会員動向》

- (1) 会員数：85名(内 名誉会員 17名) (2024年11月30日現在)
- (2) 新規入会者：なし
- (3) 退会者：柴田崇行 (2024年6月20日逝去)
木内繁夫 (名誉会員) (2024年10月16日逝去)
雄川恭行 (名誉会員) (2024年10月20日逝去)

《会からのお知らせ》

1. 2024年秋季懇親の夕べ (in 沖縄) を開催
 - (1) 日 時：2024年11月1日 19時～
 - (2) 場 所：おもろ殿内 (おもろどうんち) 那覇新都心店
 - (3) 会 費： 6,000円
 - (4) 参加者：森 克彦、小水 満、藤田 透、神澤良明、神澤氏夫人、森 雅嗣、山 哲男、錦 成郎、井口佳世、宇高小波、寺本和子、石田隆行、船橋正夫、白石順二、平野浩志、小寺吉衛、岩永秀幸、川田秀道、土井邦雄、土井氏夫人

順不同 (20名)

2. 名誉会員推戴について

規約第4条の定めに則り、山 哲男、若松孝司、鹿沼成美の3名を名誉会員に推戴する事とし、推戴状を2025年1月1日付けで送付する事とした。(敬称略)

名誉会員推戴者 (数え年で88歳)

《JSRT 情報》

『第 81 回総会学術大会』 大会テーマ：「Radiology for Everyone」
「すべての人のための放射線学」

大会長：岩永秀幸（東京大学医学部附属病院）
会期：2025 年 4 月 10 日（木）～13 日（日）
会場：パシフィコ横浜 会議センター、他

『第 53 回秋季学術大会』 大会テーマ：「井の中の蛙大海を知らず、されど空の青さを知る」

大会長：蝶野大樹（札幌医科大学附属病院）
会期：2025 年 10 月 17 日（金）～19 日（日）
会場：札幌コンベンションセンター

《コラム》

=Bing AI を用いた生成画像の試行=

ここでは、生成 AI について取り上げますが、紙面に限りが有りますので内容については概略とさせていただき試行した画像を下記に表示しましたのでご供覧願います。先ず、AI (Artificial Intelligence) とは、人工知能のことを指し、人工知能は、コンピュータやソフトウェアが、必要なデータの学習や推論を行い問題解決のタスクを実行できるようにする技術です。また、生成 AI は、ニューラルネットワークを用いて、大量のデータからパターンを学習し、オリジナルのコンテンツを創出します。例えば、テキスト生成 AI は膨大な文章データを学習し、その特徴を抽出して新しい文章を作成します。生成 AI の応用範囲は非常に広く、ビジネス、芸術、科学など多岐にわたる分野で革新的な成果をもたらしています。しかし、生成 AI にはまだ課題も存在し、生成されたコンテンツの品質や信頼性の確保、著作権や倫理的な問題への対応など、技術の発展とともに解決していく必要があります。

生成 AI の代表的なものとして、Chat GPT、Bing AI、Google Bard 等、有りますが有料及び無料のものが有りますので、必要に応じて使用することとなります。今回（2023 年 6 月 3・10 日）使用した Microsoft 社製「Bing AI」は、Microsoft Edge・Web プラウザからインストールして、自身の Microsoft アカウントにてログインしています。表示されたプラウザより目的のタグに従って必要項目を挿入して行っています。

1. カラーの花：写真 一般的にカラーの花の色は白・赤・ピンクが有りますが、普段目にしない色として「青・Gold」を生成しました。



カラー : pink



カラー : blue



カラー : Gold

2. FAR会（イニシャル）の文字デザインを生成しました。



FAR:initial-1



FAR:initial-2



FAR:initial-3

読者の皆様、「カラーの花、FAR-initial」の気に入って頂いた画像が有りましたでしょうか。筆者は、カラー : blue と FAR:initial-3 です。読者の皆様は、如何でしょうか。また、日常生活の中で趣味等を題材に「AI 生成画像等」作成してご投稿くださいるようお願い申し上げます。締切日は、特に設けておりませんが、原稿掲載号につきましては、出来る限り最新の情報誌に掲載させて頂きます。

なお、FAR 会編集委員会専用アドレス：far2020compilation@gmail.com：宛に配信して下さい。また、ご執筆原稿形式等のご質問につきましても同様にお願いします。（FAR 会・編集委員長・森 克彦、記）

《編集の小窓》

便利な世の中なのか、それとも暮らしにくい世の中なのか？

三年前に、50 年ぶりの高校クラス会が開催された。50 人の男どもが 30 人集まり、その中の 10 人が、頭髪・顔・体型から本人確定不可であった。そして今年 3 回目を迎える、連絡手段を電話から LINE グループに変えた。当初不安もあったが、全くなくスムーズに連絡が行き、画像も即配信され、皆喜んだ。一様に「便利な世の中になったね」、「素晴らしい」、「いいね」と今更であるが、73 歳爺達は謳歌した。

現在、私は町内会長の役職にあり、月 1 回市役所からの回覧資料と町内会活動資料を各 100 枚印刷し配分し、班長へ届けて各戸へ回覧している。しかし回覧が遅々として回らない。昔々の世の中は、定年後は余生と言つていましたが、いまは、余生と言つていられません。60 歳のみならず、65 歳、70 歳でも働いています。また昔は専業主婦も多くおり、地域活動に支援いただいておりましたが、男性も女性も働いています。そして二世代、三世代同居家族が減り、核家族化して社会が大きく変化してきています。従つて回覧は手渡しができず、ポストインとなり、結果的に回覧速度は 1 戸 1 日となります。

そこで DX 推進ですが、前例主義を建前とする 70 代爺組織集団では声も出ません。一部の町内会ではホームページを立ち上げ、またはアプリを購入しシステム化した地域もありました。しかしシステム維持更新に、人材不足により継続が困難と判断しました。そこで LINE オープンチャットの出番と考えました。私ができるならば、誰でもできるだろうと考え、息子の助言を得て作り上げました。テストケースを得て、本番、多くの方に喜ばれ稼働中です。特に女性群に評価をいただき、株が上がりました。ここで一方的に紙の回覧板を廃止すると、不満意見が噴出するのは目に見えるので、紙の回覧板は残して、作業は増えますがハイブリッド方式としました。但し LINE オープンチャットは SNS ですので、当分の間、利用範囲限定ですすめています。

私の関係する法人に「チャットポット」が導入されました。「チャットポット」って何？ また見知らずものが出現しました。次から次へと「新しいものが出てきます」。チャットポットは業務効率化・DX 推進における問い合わせ対応業務削減や人員を増やす以上の効果があるといわれ、低価格基本料金での活用が可能だそうです。

ChatGPT や Gemini を使ってみましょうと再三 PC やスマホに表示され、爺さんを悩ませます。本当に安全に、そして料金は無料か否か、頭を悩ませ、即実行できません。でも便利そうだな。何に使うかが明確に出てくれば

使ってみるか。でももう少し待ってみようかなというのが現在心境です。

さて、これからは「あやしい」と気づくことが必要とする寂しいお話しです。

先日、社会福祉協議会の学習会に半強制参加し、「高齢者に多い消費者トラブル」を勉強してきました。皆さん SMS と SNS の違いがわかりますか。わからない人は調べてくださいね。今はすぐに調べることができ、便利な社会になったと思います。話を戻すとネット通販で注文した覚えがないのに、商品も届いていない。しかし SMS にて請求が来て、個人情報やクレジットカード情報を入力させようとした。誰かが私のカードで買い物?どうして電話番号わかるの?

TV でよく見る著名人が、投資話 (SNS 投資) を紹介していたのでよいと判断し参加した。しかし高い手数料払うように言われた。ネットでは、「老後が心配ではないですか、年金が増えますよ。」などなりすまし、だましが多く、おいしい話はない。銀行振込口座が個人の場合はサギだそうです。次に皆さん経験ないですか。私はかなり前に経験しごっくりし、すぐくまずいことをしましたと不安になったことを思い出します。ウィルスサポートサギのお話しでパソコン使用中に、突然警告音とウィルスに感染したという表示が出た。サポート窓口に電話したら、遠隔ソフトでサポートするからそのための費用として、コンビニにてプリベイトカードカードを購入し、支払うように言われる。定期購入もトラブルが多いそうです。初回お試し 500 円のサプリを申し込み、商品も届いた。しかしなぜかまた商品が届いたので、問い合わせしたら 4 回購入条件ということだった。広告には小さな文字で書いてあったようです。大きな文字の低価格、小さな文字やスクロールした後の表示に注意。安物にはウラありなので、「1 回限りか」「やめるとき?」などの確認が必要だそうです。なお、通信販売はクーリングオフ対象外とのことです。今度は私の隣家で起こった事例です。「近所で工事をしていたらお宅の屋根が気になります」の訪問あり。「このままだと雨漏りし、またご近所に迷惑をかけますよと」屋根のことで、よくわからず契約。法外な修繕金額ではなかったが、でも「だまされたかな」とお話ししていました。知らない業者には屋根点検させないなど注意が必要です。その他、床下シロアリ駆除、給湯器の交換等様々ですね。

定年後をのんびりと、少し悪い言葉で言えば「惰性で生きている時代」ではなくになっているようです。鍛えよう「怪しい」気づく能力、死ぬまで鍛え続ける。でも偶には、のんびりしたい。ここまで生きてきた自分を信じて、今を感謝して、一日一日年を重ねましょう。

さて、また話が変わりますが、令和 7 年の干支はなんでしょうか? 令和 7 年 (2025 年) の干支は「乙巳 (きのとみ)」です。「へび」です。皆さん、ヘビにはどのようなイメージをお持ちでしょうか? 「怖い」「気持ち悪い」「ぬるぬるしている」「毒を持っていそう」「咬みつく」というマイナスなイメージが一般的ではないでしょうか。でも違います。「巳」は「へび」を意味し、古くから財宝や収穫物を守り、家運や財運をもたらすとされています。また、「巳」という漢字は胎児の形に由来しており、「新しく産まれてくる」「将来・未来がある」「子孫繁栄」「家族が平和になる」といった意味もあります。そして蛇は信仰の対象として崇められており、谷神や豊穣神、天候神などとして祀られてきました。また、蛇は脱皮をすることから「復活と再生」「不老不死」を連想させます。そのような状況から我々が関わった医療にも関係深く、蛇は、表面が傷ついても脱皮することで傷のない姿に戻るという性質から、再生と治癒のシンボルとされています。また、神話や伝承では蛇は生命の力の象徴とされ、脱皮は新たな生まれ変わり、自分の尾をくわえた蛇の輪は永遠の循環を象徴すると言われています。世界医師会 (WMA)、世界保健機構 (WHO) のロゴ【図-1】など、世界的に広く用いられています。

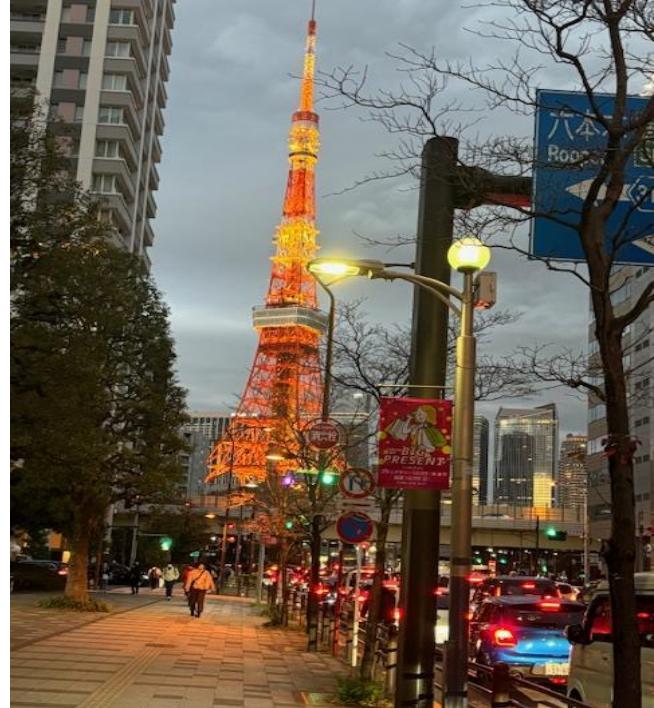


【図-1】

従って巳年の令和7年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられます。因みに巳年生まれの人は、心の繋がりを重視する傾向があり、1つの恋にじっくり向き合う（浮気しない）、好きになればなるほど誰かに取られないかと不安になる（やきもち焼き）だそうです。

最後に、先日会議の後に、久しぶり東京タワーを見てきれいだったので写真をとりました。昭和33年(1958)生まれ、赤色が好き、でもジャイアンツカラー（オレンジ）も好きだそうです。私たちと一緒に歩いてきた東京タワー、これからも我々も輝きを失わず歩いて行きたい。【図-2】

小川 清、記



【図-2】



FAR情報誌 No. 71(非売品)

発行日 2025年1月15日

発行者 藤田透

編集委員会

森克彦（委員長）

江口陽一（委員）

江島光弘（々）

小川清（々）

山田和美（顧問）



連絡先

Tele. faxed : 049-225-2619

Email : mokamokawh@gmail.com

mo-katsu@jt4.so-net.ne.jp